

「垂水高等学校の史蹟めぐりの取組」

1 学校名

鹿児島県立垂水高等学校

2 学年・人数

全校生徒（計 130 人）

3 日時・場所

平成 29 年 12 月 8 日（金） 垂水市新城方面

4 伝承・活用に取り組んでいる伝統芸能，伝統行事について

（1）名称

おろごめ

（2）由来

藩政時代の「苜馬追（おろうまおい）」（4月に2歳馬を生け捕りにして軍馬として送る）の様子が勇壮だったために，子供達の健やかな成長を願って，小学校1年から6年までの男の子の行事として行われている。

（3）構成等

本校生徒が参加するのではなく，史蹟めぐりAコースをめぐる中でその行事を知る。

5 保存会や地域との連携の具体

垂水市観光協会の川崎あさ子さんの協力を数年前から無償で得ており，その紹介で昨年からは垂水郷土史研究会会長の瀬角龍平さんの協力を得，本年度は，新城公民館の山田さんの協力も得た。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

新城地区の史蹟である俣江（またえ）観音，俣江五輪群，柗原貝塚（くぬぎばるかいづか），国一様（くにいちさま）のお墓，玉照寺（ぎよくしょうじ）五輪塔群，神貫（かみぬき）神社，新城お仮屋，落花生伝来地，西郷南洲翁仮宿跡，おろごめ開催地，切目王子（きりめおおじ）神社，鹿児島神社の各史蹟で，郷土史研究会長からの説明を受けながら，総距離約 21km を踏破させた。

7 取組の様子



本校ブログ（TaruBlo）より

<http://tarumizu.edu.pref.kagoshima.jp/archive/2017/12/>

8 参加生徒・教員の感想・意見（抜粋）

- おろごめでは、昔、馬を選別する時に馬を穴の中に入れて選別していくと聞いてびっくりしました。そして、それが今も遊びみたいな感じで続いていると聞いてすごいなと思いました。
- 今回の史蹟めぐりは、距離があって、そのぶん歴史について、垂水のことについて学ぶことができたのでよかったです。…史蹟めぐりはとても楽しくて、見たことのない所や、知らなかったことなどが次々出てきて飽きないし、疲れたりするけど、説明などを聴いて勉強し、もっと深い所まで知りたいなと思うことができました。
- 神貫神社は階段を登り終わると一気に辺りの雰囲気が凜とした空気に変わっていて神々しいなと思いました。
- （神貫神社）説明の太宰府から大伴旅人が軍を率いて垂水まで及んでいたと書いてあったのですが、福岡県方から来たって考えると、遠い所からわざわざすごいと思ったのが印象的です。
- 強風で寒い中、一人も途中棄権する生徒がいなかったことがとても良かったと思います（職員）。